



麓土地区画整理事業

いちき串木野市は、24年度の完了を目指して整備を進めている麓土地区画整理事業で、18年度は事業費3億5185万4000円を盛り込み、建物移転補償や区画道路築造、宅地造成などの整備を促進。年度内の事業としては、幹線道路の麓河内線築造や区画道路築造、宅地造成関係(盛土)、三面水路などを秋以降に発注する見込み。

麓河内線
築造等

秋以降にも発注へ

いちき串木野市街地周辺部に位置する麓地区で、市街計画道路をはじめとした公共施設を整備し、住環境の整備を図る目的で、利用増進によるもとで、路が麓線(125.8m)、河内線(132.2m)、麓河内線(49.2m)、田原線(247.1m)、河内線道路は9447m、

総事業費は71億4300万円で、事業年度として平成9~24年度を想定。主な整備内容は、幹線道路が麓線(125.8m)、河内線(132.2m)、麓河内線(49.2m)、田原線(247.1m)、河内線道路は9447m、

街区公団6ヵ所、水路は7水路(1540m)が接続しており、新市街地の住宅ゾーンとして位置づけられている。

16・4%増の380億円

前年度比

19年度奄振関係予算概算要求

計画されている。

17年度まで

計画されている。